

千葉県がんセンター 患者図書室 とな文庫

千葉県がんセンターは、1972年11月に開設した千葉県が運営する医療機関で、がん診療連携拠点病院に指定されている。基本理念の「心と体にやさしいがん医療」にのっとり、標準的治療、先進的治療、緩和治療を3本柱として、質の高いがん治療などを行っている。

2006年5月に開設した患者図書室「とな文庫」(地名の仁戸名町にちなむ)は、外来棟1階にあり、中央のテーブルを囲んで書架、参考書架、新着雑誌架、掲示板、ソファなどを配置している。病気や治療の一般向け情報のほか医学専門情報まで含んだサービスを提供し、2名の担当司書(交

代で勤務)が良書の収集とメンテナンスに努めている。

蔵書の両輪は、「情報本」(最新の正しいがん情報)と「闘病本」(闘病を励まし支える読み物)。「情報本」は、医学専門書、看護学専門書・雑誌、病気と治療について書かれた一般向けの本。「闘病本」は闘病記、医学・医療関連の良書、「生老病死」を考える読み物、絵本など。以上の分け方にそって独自の分類表を使っているため、書架は図書館の分類というより書店の配架に近くなっている。また、より詳しい医学情報が必要とする時には、スタッフ用図書室と連携して文献検索も行っている。

HP	http://www.chiba-cc.jp/general/support/nitona.html
住所	〒260-8717 千葉県千葉市中央区仁戸名町666-2
問い合わせ	TEL 043-264-5431(代表)
開館時間/休館日	10:30~16:30 / 土曜・日曜・祝日・年末年始等
交通	JR「千葉駅」東口2番バス乗り場から、千葉中央バス 誉田駅・鎌取駅・千葉リハビリセンター・大宮団地(星久喜台経由)行き乗車約25分「千葉県がんセンター」下車
利用資格	入院・外来患者とその家族
貸出/コピー	可(2冊2週間) / 可(有料)
レファレンス	有

総数：約2,000冊、継続受入雑誌：4誌、その他パンフレット
※2012年2月現在



MapFan

ケータイで周辺の地図を見られます!



www.mapfan.com

周辺はこんなところ!

千葉県がんセンターがある千葉市中央区仁戸名町。かつては千葉之庄池田郷に属し、仁戸名と書いて土地の人は「ねえな」と呼んでいたのだとか。がんセンターに隣接して、仁戸名市民の森があり、樹林地では、アカマツ・コナラ・イヌシデの他、シラカシ、スタジイ等があり、敷地内には、「かのえ塚古墳群」という、約1,300年前に造られた古墳が数多く点在しており、野外卓・ベンチやトイレが設置されている。



1 ① 病床数341床の千葉県がんセンター。日本では国立がん研究センター(旧国立がんセンター)、愛知県がんセンターに次いで3番目に設立されたがんセンターだ。



②月曜・火曜・金曜には医学専門の司書が勤務し、本やインターネットサイトを探す等のサービスを通して、患者の疑問や不安を解消する手伝いをしてくれる。室内は、絵や花柄のカーテンでアレンジされ、病院らしくないつろいだ雰囲気だ。
③とな文庫通信。2009年2月から隔月刊でセンタースタッフと患者・家族用に発行している。病院スタッフのエッセイや、おすすめ図書紹介など、盛りだくさんの掲載内容。④掲示板には、各新聞の健康医療情報の記事を切り抜いて貼っており、蔵書の本だけではわからない最新の情報を入手できる。⑤「闘病記」の蔵書は、約220冊。「闘病を励まし支える読み物」として、優れた闘病記の発掘を心がけている。⑥「とな文庫は誰もがアクセスしやすい外来棟1階にあり、気軽に入りやすいように入口のドアは開放している。

